一 般 質 問 発 言 通 告 表

向日市議会 令和３年第３回定例会

令和３年９月６日

質問順	会派名 氏名	質問事項（要旨）
1	ＭＵＫＯクラブ 和島一行	1　不登校支援について 2　市のゴミ袋と大型ごみについて
2	令和新政クラブ 上田　雅	1　地籍調査について 2　建築物の省エネルギーについて
3	日本共産党議員団 山田千枝子	1　コロナ対策で市民の命を守る事などについて 2　イオン桂川周辺の信号機設置など交通安全確保について 3　加齢などによる補聴器購入費助成の策定を 4　阪急洛西口駅西側開発の諸問題について
4	令和自民クラブ 天野俊宏	1　本市のスポーツについて. 2　通学路等や学校の安全対策について 3　市役所＆市民会館駐車場について
5	公明党議員団 福田正人	1　地域防災支援の活用について 2　ふるさと納税について
6	村田光隆	1　阪急東向日駅周辺の整備について 2　本市の道路整備について
7	日本共産党議員団 丹野直次	1　ぐるっとむこうバスの運行について 2　向日台地区地区計画案について 3　西ノ岡丘陵は防災緑地保全と位置づけることについて 4　児童・生徒、校内の安全確保などについて
8	令和自民クラブ 永井照人	1　美しい国をめざして（向日市編） 2　通学路の安全対策について（具体例）
9	公明党議員団 冨安輝雄	1　コロナ禍における防災・減災対策について 2　冷水機設置による熱中症対策について
１０	飛鳥井佳子	1　女性蔑視のミソジニー問題について 2　深田川公園付近の危険な歩道の改善を！ 3　高齢者にわかりやすい日本語で説明文を英語ことばにつけることについて 4　障がい児を育てる親の身になって、保育所の入所をスムーズに行うことについて

１１	日本共産党議員団 米　重　健　男	１　JR 向日町駅東口開設推進事業について ２　森本東部地区開発について ３　阪急東向日駅周辺整備について ４　阪急西向日駅周辺整備について
１２	杉　谷　伸　夫	１　京都府と情報共有して、コロナ感染者へ可能な支援を ２　コロナ禍の市民の生存権を保障する生活保護行政を ３　パブリックコメント制度の運用について
１３	日本共産党議員団 北　林　智　子	１　放課後等デイサービスの拡充について ２　土地利用規制法から市民のプライバシー権や財産権を守る事について ３　保育行政について ４　地域からの要望について
１４	日本共産党議員団 佐　藤　新　一	１　格差の無い誰もが安心して暮らせる社会にするために ２　地球温暖化の実態と向日市の対策を問う ３　都市計画道路牛ケ瀬勝竜寺線変更について早期に市民への説明会を

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	和島一行	所属会派名	ＭＵＫＯクラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．不登校支援について	令和元年度の全国小・中学校における不登校児童生徒数は 181,272 人（前年度 164,528 人）であり，前年度から 16,744 人 （10.2%）増加。在籍児童生徒に占める不登校児童生徒の割合は 1.9％（前年度 1.7%）。 過去５年間の傾向として，小学校・中学校ともに不登校児童生徒数及びその割合は増加している。 不登校児童生徒数が 7 年連続で増加, 約 56%の不登校児童生徒が 90 日以上欠席しているなど，憂慮すべき状況である。児童生徒の休養の必要性を明示した「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」の趣旨の浸透の側面も考えられる。 さて本市の状況だが令和元年度、小学校では 30 日以上欠席の児童は 15 名、50 日以上の欠席は 30 名、中学校では 30 日以上欠席は 13 名、50 日以上は 48 名であった。 一方、教育相談員の支援状況で、不登校に関する相談では小学校 179 件、中学校 270 件であった。 １）さて本市では、不登校の児童生徒を支援する適応指導教室『ひまわり広場』があるが、ここに通所することで出席扱いになる。向日市ホームページでは不登校支援では先ほど述べた『ひまわり広場』のみ載っているが、『ひまわり広場』以外を希望された場合には、市が認める施設ではどのような支援先を紹介しているのか伺う。 ２）文部科学省不登校支援で学校における取組として、①不登校にならないための魅力ある学校づくり②不登校児童生徒に対するきめ細かく柔軟な対応とある。 そこで、その②の中の一つで教職員の資質の向上が

	求められるが本市の学校の教員の資質の向上はどのようになされているのか。 ３）不登校の対応にあたっての 5 つの視点で一つ目の将来の自立に向けた支援の視点、不登校の解決の目標は子どもたちの将来的な『社会的自立』である。また不登校は心の問題のみならず、進路の問題であるとの認識に立ち各学校は進路形成に資する学習支援や情報提供を積極的に行うことが重要である。中学生は特に高校受験という山があるが具体的にどのような支援をしているか伺う。 ４）今年度より一人一台タブレットが与えられた。それを活用し不登校の児童生徒に学校で行われている授業をオンラインで結び、授業を受けることで出席扱いにできると判断するが如何か。
２．市のゴミ袋と大型ごみについて	来年 2 月に向日市のゴミ袋がスタートするが、以下の点についてお尋ねする。 １）最近のゴミの事情だが、過剰包装が多く段ボールが目立つ。そして庭の木の枝など、袋より大きくなるものはどうなるのか。 長岡京市では町内で取りまとめて古紙回収業者と契約を結び、手数料を子供会の会費に充てるなどしている地域もある。 本市はどのようにするのか詳しい説明を希望する。 ２）エレベーターのないマンション、団地等に居住している力のない高齢者が粗大ごみ（家具等）を階下までもって降りることはたいへんなことである。ある方は少しお金を出してもいいので、取りに来て欲しいとまで言っているが、如何か。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	上田　雅	所属会派名	令和新政クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 地籍調査について	向日市内における地籍調査事業の状況と 今後の計画等について伺います。
２． 建築物の省エネルギーについて	建築物省エネ法などに対する、向日市の 取組方について伺います。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配付資料

一般質問通告書　総括質問

質問者氏名	山田千枝子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、コロナ対策で市民の命を守る事などについて	新型コロナ感染症は、感染力が強い変異株への置き換わりをきっかけに、第５波において過去最悪のペースで急激な感染状況となっている。「緊急事態宣言」がとられたが「救える命が救えない」状況がすでに始まっている。政府は感染拡大地域における入院制限の方針を突如打ち出し波紋と不安を広げています。身近に次々と感染されている方が増え急増している自宅療養者やホテル等宿泊施設療養者が急激に増悪して重症化し、命を脅かされる事態を避けることが緊急に求められています。１.政府に対して「入院制限」方針の撤回を求めて頂きたい。２.市保育士のワクチン接種状況は。３.妊婦ワクチン優先接種の予約はどうか。４.１２才以上の子ども自身でワクチン接種の選択するにあたっての公的機関の情報を中学生に知らせる手立てについて。５.市の **PCR** 検査の周知して頂きたい。６.感染した場合のホテル療養や自宅療養になった時の前知識の情報を提供して頂きたい。７.誰でも **PCR** 検査が出来るように拡充して頂きたい。８.国に対して持続化給付金や家賃補助金の２回目の実施を行うよう働きかけて頂きたい。
２、イオン桂川周辺の信号機設置など交通安全確保について	イオン桂川周辺は事故も発生し、６月１０日、交差点で自動車事故があり、電柱は傾きガードレールは公園の中に飛び、ガラスの破片が散乱。周辺交差点の信号機設置を求めて頂きたい。

３、加齢などによる補聴器購入費助成の策定を	全国で加齢などによる補聴器購入費助成制度が広がっている。焼津市では高齢者保健福祉事業として補聴器の助成を 65 歳以上の住民税非課税の人で聴力３０デシベル場を対象に２分の１を助成。上限が 3 万円となっています。昨年の議会でわが党の常盤議員が同様の質問をしました。その時の答弁では必要性は承知され、対象者や補助率など導入されている自治体の事例を調査するとのことでした。１.その後の調査はされたのでしようか。２.市は聴覚障がい者のための手話言語条例を策定しています。すべての聴覚者が大切にされるよう市であると注目される事業として補聴器購入費の助成制度を策定して頂きたい。３.国に対して７０デシベル以上という聴覚障がい者判定レベルの引き下げを求めて頂きたい。
４、阪急洛西口駅西側開発の諸問題について	公聴会・説明会、都市計画審議会の傍聴をしました。開発についての意見に対して市の見解が示されていました。１.説明会で地権者の方が「先祖の土地をなくしてする開発は市から依頼された開発計画」とすごい剣幕でした。もうひとりの地権者は「農機具などの散乱が開発理由の一つとなっているが、許可をもらって農機具をおいているのにどういうことか」との怒りでした。地権者のまちづくり協議会から出てきた開発計画の説明を市が行い、そこで地権者の方々が市に文句を言われる。まちづくり協議会からの開発計画ではなかったのか。２.６０ｍの高さ規制についてですが、西ノ岡丘陵や西山連山を望む景観が保持できません。市のまちづくりの景観政策について問います。３.京都市域はホテル建設のラッシユです。「ホテルの需要の見通しやオフイス棟に入る企業や事業所があるのか」の声を聞いている。その見通しについて.４.鉄塔の移設について

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	天野　俊宏	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
1．本市のスポーツについて	1．スポーツ推進計画が策定されたが、この中身について伺う 2．スポーツの組織について 3．向日町競輪場の活用（アーバンスポーツ施設誘致）について伺う
2．通学路等や学校の安全対策について	1．千葉県八街市での事故を受けての通学路の再度の点検結果について伺う 2．危険箇所の中で、早急には対応できない箇所の応急的な対応について伺う 3．学校内の危険箇所、安全対策について
3．市役所＆市民会館駐車場について	現在、建設中の「永守重信市民会館」完成後の市役所及び「永守重信市民会館」の駐車場について伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	福田　正人	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．　地域防災支援の活用について	①　本市における気象災害の発生が予想される場合の、京都府や気象台との連携について聞く。 国交省は、平成29年度から地方公共団体の防災現場で即戦力となる気象防災の専門家を育成する目的で、「気象防災アドバイザー育成研修」を実施している。 ②　「気象防災アドバイザー育成研修」が開催される場合、参加しては如何か。 ③　気象防災アドバイザーに対する本市の認識と見解を聞く。 ④　今後、女性が防災を学ぶことの重要性と女性防災人材の必要性をどのように考えるかを聞く。
２．　ふるさと納税について	①　令和2年度の本市への寄付額は985万5千円で、寄付件数は２０９件と大きく増加をしているが、今後の進め方を聞く。 寄付に対する返礼品として、日本郵便が始めた見守り訪問サービスを寄付の返礼品として利用できることとなった。 ②　返礼品として、物ではなくサービスを提供する視点について、本市の考えを聞く。 ふるさと納税には、「企業版ふるさと納税制度」がある。寄付を受け付けるには、国の認定が必要だが、現在１１９４の自治体が認定を受けている。地域活性化に貢献した企業した企業は様々な税制上の優遇が受けられ、自治体側は、コロナ禍により厳しい財政運営を迫られている。 ③ 企業版ふるさと納税について、本市の認識を聞く。 ④ 企業版ふるさと納税制度は、企業にいかにアピールするかである。取り組みの考えを聞く。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
1．阪急東向日駅周辺の整備について。	阪急東向日駅前のももじろう跡地はポケットパークにはなったが、周辺の整備は進んでいない。 駅前は市役所の別館が開庁し、スーパーマーケットも出来て、賑わいが戻りつつあると思われたが、ライフシティもなくなり、都市銀行の閉店が決まり、以前のような賑わいが取り戻せるのか、未知数である。 今後駅前をどのように整備するのか、構想をお聞きする。
2．本市の道路整備について。	毎年 8 月は道路ふれあい月間である。 本市でも、道路不法占用の取り締まり、パトロールが行われたが、その成果をお聞きする。 旧西国街道のカラー舗装が薄くなったり、道路工事による継ぎはぎが放置されたりと見栄えが悪く、かえって景観を損ねていると思われるが、定期的に塗り替えるか、いっそのことカラー舗装をしないほうがよいのではないか。 市内にある、多くのカーブミラーのミラー部が汚れでくすんでいる。 事故が起きる前に、改善するべきではないか。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	丹野　直次	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1、ぐるっとむこうバスの運行について	新たな運行ルートで住民の交通手段の充実を図るために、 ぐるっとむこうバスが大牧地域(東山バス停)を通る運行ルートが提案されました。大変喜ばしいことであります。「バスの増便を求める住民の会」から住民要望をお聞きしています。
2、向日台地区地区計画案について	1、府道中山向日線の西側にある６棟から８棟が地区計画外となっています。なぜ含まれていないのか 区域外の面積はいくらか。 2、法律第４１条の「説明会」はどのようなスケジュールを予定しているのか。急傾斜地の対策は ３「交流スペース」が計画されています。そこには子育て新施設の保育所の建設予定となりました。定員は何人位か。

3、西ノ岡丘陵は防災緑地保全と位置づけることについて	開発行為に対して住民に対して説明会がされ60人ほど参加され意見要望が出されました。しかし疑問が残ったままで、事業者からの十分な説明ではないとの意見が多数出されていた。 府土木事務所は土地所有者らに今回の工事について、土地造成工事は手続き上問題が判明したことから協議、指導がされている。ことを伺ってまいりました。今後の市としてもしっかりと対応されるよう市の見解を求めます。
4、児童・生徒、校内の安全確保などについて	1文科省や府からのコロナ感染防止のガイドラインは。 ・本市の取り組みはどうか ・市長は今議会初日の「主要事業」報告の中で12才以上にもワクチン接種券を送りました。と発言されましたがその詳細について伺います。 ・教職員に対する抗原検査、PCR検査及びワクチン接種状況について。 2、向陽小学校敷地内には「里道」もあると伺っています。児童の登下校時使用する正門はじめ学校教職員らの出入り口が数カ所あります。地籍調査などは終わっているのでしょうか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	永井　照人	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 美しい国をめざして （向日市編）	① 洛西口西側開発（ノースゲートウェイ）に7つ星ホテルの誘致を ② 西山丘陵の竹林を世界に自慢できる竹林風景にすることを望む
2. 通学路の安全対策について（具体例）	学校登校時の見守りボランティアの方からの安全管理についての要望

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	冨安輝雄	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．コロナ禍における防災・減災対策について	１．「分散避難」の定着について 　災害時に避難生活が必要な方に対しては、避難所が過密状態になることを防ぐため、可能な場合は親戚や知人の家等への避難を検討するよう周知すべきと考える。その上で、分散避難によって災害物資の届け先が増えるため、どう対応するのか検討が必要あると考えるが、ご見解を伺う。 ２．避難所の感染症対策と運営について 　避難所における感染症対策を強化し、避難者に対して手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策を徹底するとともに、備蓄物資の充実が必要であり、感染症予防に必要となるマスクや消毒液、非接触型体温計、フェイスシールド等の備蓄、サーモグラフィや空気清浄機、大型発電機の設置等の推進を図るべきである。また、避難所での感染症の蔓延を防ぐため、段ボールベッドや段ボール間仕切り、パーテーション、飛沫感染防止シールド等の備蓄積み増しとともに、保管スペースの確保が必要である。 　避難所内の十分な換気やスペースの確保、避難所全体のレイアウト・動線等、感染症対策に配慮した避難所運営のあり方についても、まとめておく必要があると考えるが、ご見解を伺う。 ３．発熱、咳等の症状が出た避難者の病院移送が難しい場合に備えた対応について 　避難所における良好な生活環境を確保するためには、感染症を発症した可能性のある避難者と一般の避難者とのゾーン、動線を分け、個室などの専用のスペースを確保し、専用のトイレを用意することなどが必要である。 　こうした課題に、どう取り組まれるのか、見解を伺う。

	４．防災訓練について 　昨年に続き今年も向日市防災訓練はコロナ禍のため中止となったが、災害時対応における感染症対策等の観点からも、コロナ禍に対応した防災訓練を実施すべきであると考えるが（例えば、感染症対策に配慮した避難所開設運営訓練など）ご見解を伺う。 ５．情報発信について 　新型コロナウイルスによる感染症が心配な今の時期、自然災害の発生が予想される場合に、市民はどのような行動をとるべきなのか等、事前の対策と避難時の注意点をお伝えする必要があると考えるが如何か、ご見解を伺う。
２．冷水機設置による熱中症対策について	最近は、車椅子の方や小さな子どもでも水分補給ができるユニバーサルデザインの冷水機が主流になっている。また最近は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、直飲み冷水機の撤去が目立ち、それに代わって学校や公共施設ではマイボトルに汲むことができる『ボトル給水タイプ』の設置が増えてきている。 熱中症対策とともに、SDGs の観点からもペットボトルごみを削減するためマイボトルを推進する効果も期待できる。そこで、以下お伺いする。 １．小・中学校への冷水機の設置について ① コロナ禍の現在、既設の冷水機の取り扱いはどの様になっているのか。 ② 配管やスペースの課題があることは承知しているが、児童生徒、教職員の健康管理の観点からも是非、設置を検討していただきたいが如何か、ご見解を伺う。 ２．庁舎及び市管理施設への冷水機の設置について 　配管やスペースの課題があることは承知しているが、来庁者や職員の熱中症対策の観点からも是非、設置を検討していただきたいが如何か、ご見解を伺う。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	飛鳥井　佳　子	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 女性蔑視のミソジニー問題について	「勝ち組女性」を狙った小田急刺傷事件の犯人は「勝ち組と思われる女性を見ると殺したくなった」などと話し乗客 10 人を刺傷し、20 代の女子学生が重傷を負った。 韓国でも「ミソジニー殺人」があり、その犯人は「女たちが自分を無視したから」と供述している。 2008 年の秋葉原無差別殺傷事件でも 25 才の犯人は「彼女さえいればこんな惨めに生きなくていいのに」などと書いていた。 このようなミソジニー（女性嫌悪や女性蔑視の意）について、 ①学習したり啓発する必要があるが、どうか？ ②DV やミソジニー問題についての意見や体験を市民に匿名で募集し、カードにして公共施設に掲示してほしいがどうか？ ③市民会館が建設されたら、上野千鶴子さんや三浦まりさんや、大沢真理さんなど、「女性学」の先生の講演をしてほしいがどうか？
２． 深田川公園付近の危険な歩道の改善を！	えきえきストリート（阪急東向日駅～JR 向日町駅）のまん中の深田川公園付近に、とても危険な歩道があり、大きな看板で注意をしているが、高齢者は恐ろしい思いをされており、このコロナ禍でケガをしたり骨を折ったら、病院も長引く手術や入院の方が増えては大変なので、早期にこのメイン通りを段差がない平らな道路に改善してほしい。 府に用地買収や拡幅を要請してほしい。

３． 高齢者にわかりやすい日本語で説明文を英語ことばにつけることについて	高齢者から「ノーマライゼーション」ってどういう意味ですか？ とか「ジェンダー」って何ですか？と聞かれます。 DV をドメスティックバイオレンスとか、SDGs をサスティナブル・デベロップメント・ゴールズと言っても何のことやら、意味がわからないので「LGBT」や「ポジティブアクション」等々について親切に分りやすい説明をつけて表記をしてあげてほしいがどうか？
４． 障がい児を育てる親の身になって、保育所の入所をスムーズに行うことについて	この長引くコロナ禍で障がい児を育てる親の方々は日々、たいへんなご苦労をされています。離職させられる方もあり、次の職場を探すのもたいへんなことで、生活苦で追いつめられていく方もあると思います。 「福祉の心」の乏しい街であっては安心して障がい児を産み育てることはできません。アメリカのように全ての障がい児が地域で育つ「統合教育」があたりまえで、日本はパラリンピックをするわりには、日常的に障がい者差別がひどいと思います。 ですから、障がいを持つ子どもさんを最優先に受け入れる体制をつくり、希望者はスムーズに保育所に入所できるようにしてほしいが、どうか？

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米重　健男	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、JR 向日町駅東口開設推進事業について	東口の開設は、駅前広場や駅ビル・附属ビルなどを用途地域の変更、容積率の緩和などを行い建設可能とすることで実現しようというものであるが、市民からは建設されるビルの高さや費用、建設される建物の種類、市民の負担、西側地域への影響、景観、JR 側の責任など様々な疑問や意見が出されている。 １、計画の進捗状況について 関心が大きく、まちづくりにとって重要な計画で、計画の全容を早期の段階で知りたいとの要望が大きい。進捗状況と見通し、情報公開について伺う。 ２、財政計画について 総工費約 230 億円、市負担額約 32 億円である。財政調整基金は約 15 億円、地方債現在高は約 177 億円である。市負担額を市債で調達すると、市債残高は 200 億円を超えるが、財政への影響はどうか。また、市負担の内訳はどの様なものか。 ３、京都市による高さ規制の緩和ついて 京都市で、3 月に高さ規制の緩和が行われている。本市の JR 東側再開発計画との調整などはどの様に行われるのか、東側再開発へ及ぼす影響について伺う。
２、森本東部地区開発について	営農継続の困難な地域において乱開発を避け、土地の高度利用を目指しているが、一方で水田がなくなることによる水害の増加や、高層建築による景観・電波・日照などの阻害や風害の発生、交通安全性の低下などの懸念がある。また、境界区域であり、近隣の京都市民への配慮も求められる。市は道路の整備などの限られた関与だが、計画を許可した責任がある。懸念の払拭と想定される問題の対策への積極的な関与が責任を果たすことにつながると考える。 １、歩道の安全対策について 滋賀県、千葉県で起こった事故はガードレールの設置が事前に行われていたら防げたとの見方がある。森本東部地区開発では区画道路の整備に当たり

	通学路等に歩道の整備をしているが、車両の歩道への飛び込み事故への対策を伺う。 ２、森本東部地区開発に付随する区画道路への信号機の設置について 　区画道路の整備後の交差点への横断歩道、信号機などの整備の計画について伺う。 ３、市街化調整区域における都市計画税及び固定資産税について 　市街化調整区域は、都市計画税の課税対象ではない。しかし、都市計画道路等を整備し、上下水道等のインフラ整備も必要となる等、他の市街化地域と遜色のない整備状況となる。都市計画税を非課税とすることは、他の市街化区域との間で公平性を欠く。地方税法第 702 条では市街化調整区域を非課税にすることにより市街化区域との間で、著しく均衡を失する特別の事情が認められる場合は課税できるとしている。また、固定資産税についても市街化調整区域のままであれば、税額が下がる。森本東部地区開発は市の財政力の向上も目的としてあるが、如何に税収の向上を図るか見解を伺う。
３、阪急東向日駅周辺整備について	阪急東向日駅は本市の玄関口とされている。本市中心部として利便性の向上が望まれているが、商業施設の縮小傾向に歯止めがかからず、また、送迎などによる車両の増加に対応した駅前設備となっておらず、その機能性及び利便性に陰りが生じている。中心市街地にふさわしい機能強化と整備が求められる。 １、周辺整備での阪急電鉄との交渉の進捗について 　先般の議会においての我が党議員の質問に交渉中であるとの回答であったが現状はいかがか。 ２、近隣商業の活性化を図ることについて 　中心市街地の機能向上に近隣商業の活性化は不可欠であるが、今後の見通しを伺う。
４、阪急西向日駅周辺整備について	阪急西向日駅では西側の道路整備が昨年行われ、通行しやすくなったとの声が出ている。一方で東側は駅出入り口前後の道幅が極めて狭く歩行者が壁際に張り付いて通行車両を避ける光景が日常化している。交通安全上の問題や駅への送迎などでの駐停車を改善するために早急な整備が必要である。駅東側の現状認識と今後の構想を伺う。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問・~~分割質問~~）

質問者氏名	杉谷　伸夫	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１．京都府と情報共有して、コロナ感染者へ可能な支援を	新型コロナ感染症の感染爆発による医療崩壊により、必要な医療やその他の支援を受けられず、自宅に放置される方が激増しています。国の失政によってもたらされた危機的状況ですが、市民の命と健康を守るため、市長は京都府と情報共有し、可能な支援を行って頂きたい。 （１）京都府から向日市に対して、新型コロナ感染者に関していったいどのような情報が提供されているか？ （２）新型コロナの感染者に対しては、保健所が一元的に対応していますが、感染が爆発的に拡大している現状で、保健所機能は完全にパンク状態です。保健所を管轄する京都府に任せているだけではいけない段階に来ているのではないでしょうか。 （３）現状は、市民に対して必要な医療を提供するべき国や京都府の責務が果たされているとは、とうてい言えません。 市民の命と健康を守るために、市長は京都府と情報共有し、医療の提供その他市民への支援を行っていただきたいがいかがでしょうか。
２．コロナ禍の市民の生存権を保障する生活保護行政を	新型コロナ禍の下で経済的困窮が広がっているにも関わらず、市民の生存権を保障するための生活保護の利用はあまり増えていません。生活保護制度を市民や利用者が正しく理解し、利用しやすく、安心して保護が受給できるよう、改善の取り組みを求めます。

	（１）生活保護の入口である向日市の「生活保護のしおり」の見直しが必要です。以下の点の見解を求めます。 ①生活保護が、「憲法２５条に基づく国民の権利である」という基本的なことが明記されていません。 ②逆に、生活保護利用の心理的ハードルを高くするような記載が随所に見られます。 ③利用者市民にとって有益な情報は、しっかり記載して伝えていただきたい。 ④暴力団の排除について、一切の記載がありません。２年前の事件を踏まえれば、明確に記載すべきではないでしょうか。 ⑤ぜひ他市の事例も参考に「生活保護のしおり」を見直して頂きたい。 （２）市民が保護申請をためらう最大の壁となっている不要な「扶養照会」をやめること。 ①２０２０年度の保護申請件数と、そのうち扶養照会を行った件数と延べ件数、その結果金銭的扶養が履行された件数とその金額的効果について。 ②田村厚労相は国会答弁で「扶養照会は義務ではありません」と３回繰り返しました。本市もそうした基本認識は同じでしょうか。 ③扶養が期待される場合にのみ扶養照会を行う運用に改めることについて、所見をうかがう。
３．パブリックコメント制度の運用について	「向日市職員の公正な職務の執行に関する条例」は、条例案がパブリックコメントにかけられた後、パブリックコメントで出ていない内容まで大幅に変更されて議会に提出されました。これは、パブリックコメント本来の目的・趣旨に反するのではないでしょうか？制度の信頼に関わる重大問題です。 市の見解を求めます。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	北林 智子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．放課後等デイサービスの拡充について	障がいをもつ児童生徒が通う放課後等デイサービスの利用回数を週３回から５回に拡充することを保護者から強く求められています。 ①他市では週５回まで利用可能となっている。向日市では基本利用上限を週３回までとする理由についてを問う。 ②利用回数を最高５回までとしていただきたいがどうか。 ③現在、条件により週３回以上利用している児童生徒がいるが、その条件について伺う。
２．土地利用規制法から市民のプライバシー権や財産権を守る事について	土地利用規制法案の強行採決により、政府は安全保障上、「重要施設」全国の米軍基地、自衛隊基地、原発などの周辺１Ｋｍ等を指定して、利用状況を調査し、区域内の土地、建物の所有や利用の制限、「特別注視区域」内の土地・建物の売買契約について、契約当事者は内閣総理大臣に、氏名、住所、売買物件の所有地・面積・利用目的などの情報、不動産取引の事前届出の義務付けを行うもので、違反すれば２年以下の懲役もしくは２００万円以下の罰金が科されます。 ①向日市は、自衛隊桂駐屯地が近隣にあり、周辺約１ｋｍとなる北部地域には１万人超の市民が対象となります。市は、市民のプライバシーと財産を守る立場からどう考えているのかを伺う。 ②人権と財産権を侵害するこの「土地利用規制法」を廃止するよう国に求めて頂きたいが、いかがでしょうか。

３．保育行政について	①公立保育所の使用後紙おしめの処分事業のその後の進捗状況について 予算がついてから半年が経ちました。実施の時期と遅れた理由について問う。 ②保護者のみなさんの利便性向上や保育士の負担軽減のため進められているＩＣＴシステム導入について ア、導入に向けての進捗状況について問う。 イ、現場の保育士の意見の聞き取りや十分な説明の場はもたれているのでしょうか。 ③保育士募集及び採用状況について ア、今年度の募集・採用状況と定着しにくい原因と対策について伺います。 ④保育所保育士配置基準の拡充について、国に働きかけて頂けたのでしょうか。お尋ねします。 ⑤障害をもつ子どもの保護者からの切実な希望である障がいのある子どもの保育所入所を優先することについて伺う。
４．地域からの要望について	１，小学校の通学路の交通安全対策について ①通学路の点検は、されているのか。 ②向日市でどのように、実施されているのか。 ③４向小学校の北側の通学路の一部が交通量が増えて危険だと聞いているが、市としてできる交通安全対策を何か講じて頂きたいがどうか。 ２，公園の日陰対策について ①子どもたちが利用する向日市の児童公園に、日陰や日よけがありません。公園整備基金を使って、あずまやなどつくってはどうかをお聞きします。

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	佐藤　新一	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
１．格差の無い誰もが安心して暮らせる社会にするために	１、菅首相はコロナ対策に対して専門家の警告も聞かず無為無策（何もしない）国民には自助を求めるだけです。日本共産党は１月段階でオリンピックの中止を求めコロナ対策に集中することを求めてきました。しかしオリンピックを強行したために東京都では８月２６日新規感染者４３５２人自宅待機者は２万５９３４人を超え、医療崩壊が起こっています。 　第４次の緊急事態宣言が京都にも２０日発令され、８月２６日新規感染が１日６０８人を超える過去最多になっています。このような政府に私たちの命と暮らしを任せることはできません。 　日本共産党は感染拡大を抑えるために政府に提案しています。①ワクチン接種を円滑に進めること。②新規感染拡大の連鎖をたちきるためにはＰCR 検査を大規模に実施し、クラスターが発生しやすい施設、病院、学校、企業などに計画的に行うこと。③自粛と一体で個人事業主、医療機関への補償を行うことを求めています。 　向日市も独自に PCR 検査の拡充を実施し、感染者を早期発見、早期保護をして、感染の連鎖を断ち切る自治体独自の決断が求められていますが、市長の考えを伺います。		
２．地球温暖化の実態と向日市の対策を問う	国連の気候変動に関する政府間パネル（ICPP）第１作業部会は８月９日、地球温暖化について世界６６か国から２００人以上の専門家が１万４千件の論文を引用し７万８千ものコメントすべてに対応して報告書は完成それを発表。 報告書は人間の活動が地球温暖化に与える影響について「疑う余地がない」と初めて断定しました。温暖化に対する向日市の見解を伺います。 ①温暖化対策は待ったなしです。自治体として積極的に取り組まなければなりません。新庁舎には環境にやさしいシステムを採用されました。再生可能エネルギーに切り替えることが重要です。老朽校舎の改築時に太陽光パネルを設置すれば教育上も好ましいのではないでしょうか。他の公共施設へも積極的に設		

	置など具体的な施策を早急に実行することが必要と考えますが向日市の考えをお聞かせください。
３．都市計画道路牛ケ瀬勝竜寺線変更について早期に市民への説明会を求めます	都市計画道路牛ケ瀬勝竜寺線について変更ルートが明らかにされましたが、市民の皆様には一度も向日市から説明されていません、そこで市民の声を紹介するとともに、一刻も早く市民説明会を開催することを求め質問いたします。 １－７月３日地域の皆様と新ルートを現地調査する中でいくつかの課題が浮かび上がってきました。以下質問にお答えください。 ①５向小学生の通学道路を横切ること、通学路と並行して走ることになるための安全対策。 ②府営上植野団地の中を通ること、京大宿舎、２つの大型マンションに隣接すること。北ノ田住宅に近接していることによる騒音、安全対策について。 ２－７月２０日５向小学校西側の通称「ひまわり」交差点を中心に児童の登校時間帯に人と交通量の調査をしました。７時４０分～８時１０分の３０分間にひまわり交差点を通過する車両は３１０台、人の往来は児童を中心に６２３人でした。安全対策を求め質問いたします。 ①ひまわり交差点には現在シルバーさんを２名配置されていますが３名にすべきと考えます。松山前議員がボランティアとして数１０年一緒に協力されていますがいかがでしょうか。 ３－８月２０日には仮称「牛ヶ瀬道路」考える会が住民説明会を開催されそこで出された意見を紹介し質問と致しますお答えください。 ①これほど重要なことは市民の声を聞いてから進めるべき ②ほとんどの人は知らない、向日市は市民に説明をするべき ③向日市体育館から上植野浄水場まで道路拡幅するほうが先ではないか